

## フィリピン滞在記 ⑦---フィリピンはTATTOO(刺青)文化天国か!?

為我井輝忠

フィリピンを旅行していると、実に多くの人々がタトゥーをしているのを見かけるが、実に驚かされる。世界中どこへ行ってもタトゥーをしている人は多いが、そのほとんどはファッション的なもので、特に若い人々が好んで自分の身体にタトゥーを入れている。西欧諸国では若い女性の間で人気があるようだ。

しかし、流行というものではなく、伝統的に自らの身体に種族の「誇りや男らしさを」表すためにタトゥーをしている多くの民族がいる。特に、アジア、アフリカ、南太平洋の国々では今なお行われているところがある。私が訪れた国々の中ではタトゥー文化のある国々が多いような気がする。例えば、フィジー、ニュージーランド、タイ、ミャンマー、スリランカはもとよりフィリピンでもそれらが顕著に見られる。

ある時フィリピンの雑誌を見ていたら、この国には伝統的にタトゥーをする習慣があり、特に山岳民族の間では民族の誇りを表すために全身にタトゥーを入れると書かれていた。今でもそのようなところがあるのだと大変驚いた。しかもフィリピンで最後の(否、世界で最後の)タトゥーアーティストとであるFang-Od(ファンオド)さんという96歳になる女性がいると紹介されていて、ぜひその場所へ行ってみたいと友人に相談すると、「今でも首狩り族がいるかもしれないぞ。3時間は歩かなければならない」などと脅かされてしまった。最初友人は気乗りしないようだったが、次第に興味を持ち始め、付いて来てくれることになった。

私が住むサン・フェルナンドからバギオ、バナウエ、ポントック、タボック、ブスカランへとバスを乗り継いで出かけたが、1日では無理なので途中でバナウエに2泊した。タボックでは途中までし

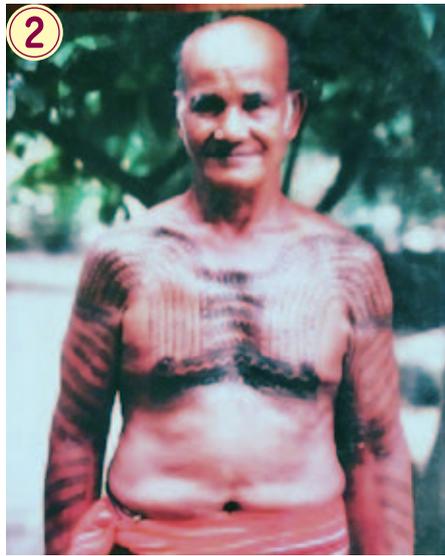
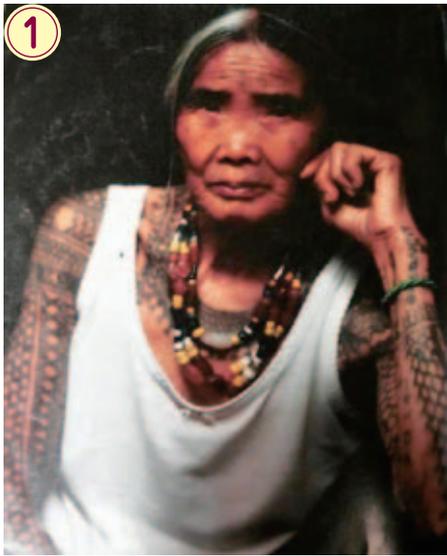


今なおタトゥーが盛んに行われている、カリンガ州ブスカラン村

かバスが行かず、やむを得ずバス停の近くにいた人にオートバイに乗せてもらい(勿論有料で)、その後偶然、途中でこれから訪ねる予定のブスカラン村の男性にお会いし、この男性の案内で2時間歩き、やっと着くことが出来た。ブスカラン村に来るころには日はすでに暮れかかり、案内してくれた男性の家に2晩泊めていただいた。

ブスカラン村は昔から首狩り族の村として知られているが、もちろん今はそんな習慣はなくなっている。しかし、タトゥーをする習慣だけが残ったようである。この村は世帯数100戸、人口1000人ほどの小さな村である。伝統的な高床式の住居が多く残されていて、そんな家の一軒に泊めていただいた。村は800メートル級の山の中にあり、そこまで行くのは前述したように大変なものであったが、さすがタトゥーの村と知られるだけあって、フィリピンはもとより世界中からタトゥーを求めて多くの人々が訪れていた。現に私たちが滞在していた2日間の間に10人位の人々が来ていた。2014年に雑誌*National Geographic*に彼女のことが紹介されていて、それで世界中に知られるようになったのかもしれない。

この村を訪ねた目的はファンオドさんを訪ねる



①フィリピン最後のタトゥーアーティストと言われる96歳のファンオドさん ②全身にタトゥーをしている村の長老 ③ファンオドさんの後を継いだグレースさん ④グレースさんからタトゥーを入れてもらっている男性 ⑤グレースさんの真剣な顔付はとても19歳とは思えない ⑥背中にタトゥーを入れた村の老婦人

ことであつたが、残念ながら現在高齢のため病院に入院中で、お会いすることは出来なかった。その代わり19歳になるGrace(グレース)さんが後を継いでおり、若いながらも彼女にタトゥーを入れてもらうために訪ねてくる人がたくさんいた。彼女は10歳の時からファンオドさんの元で修業し、今では9年のキャリアがあり、話をしている時はまだ幼さが残る風であつたが、タトゥーの施術を行う際の様子はもう一人前のアーティストの顔付きであつた。

村を歩いていると、たしかにタトゥーをしている人が多い。ただファンオドさんのように全身に入れている人はそんなに多くなく、若い人は腕とか脚、背中といった一部だけにしか入れていない

ようだ。全身に入れている人々は、何人かの年配の方々しかお会いできなかった。グレースさん自身にも見せていただいたが、全身というよりは部分的に腕、脚、背中の一部に入れているだけで、全身には入れていなかった。

今回のタトゥーの村を訪ねて来たことをフィリピンの友人たちに話すと、皆一様に驚いたようだった。全員がこのような村があることさえ知らないし、ましてこの村で今でもタトゥーを全身にする習慣があることなど初めて聞いたという人ばかりであつた。日本では「刺青」というと、顔をしかめる人が多いが、フィリピンでは多くの人々がタトゥーを入れていて、それはこの村のように数百年も続いてきた文化のようである。